

家庭教育支援チーム

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	草津市家庭教育支援チーム (呼称: 認定 NPO 法人くさつ未来プロジェクト) URL: https://www.kmp-kusatsu.org
②活動拠点	市民総合交流センター(キラリエ草津)、市民交流プラザ、玉川まちづくりセンター等
③活動範囲	草津市内、滋賀県、県外
④組織体制	理事7人 正会員 74 名 保育士 4 名、教師 3 名、市・県議会議員 3 名、大学教員 2 名等
⑤活動開始年度	平成 28 年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 代表理事 野口 真理子 (TEL)090-1447-7590 (E-mail)kmp.kusatsu@gmail.com

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

<p>③活動内容</p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 未就園児親子及び育児中の親の交流の場 6つの育児サークルで未就園児親子の居場所、交流の場づくり。 2 子育てシェア的母子分離育児サークル 親が人に頼れたり、お互い様の精神が養われるように、地域で子育てシェアの意識を広め、数時間でもママにリフレッシュしてもらえたらという思いで地域の先輩ママがスタッフの母子分離育児サークルの実施。 3 小学生対象自炊塾 4 「どうせ無理」をなくし一人一人がチャレンジする大切さに気付く 「子どもロケット体験教室」 ロケットの製作、発射、振り返りを通して「自分に自信を持ち」「自分のことがすきになれる」教室を開催。 5 親、教師だけでなく、社会人、経営者、大学生など様々な大人たちと関わる ことによって子どもたちが「自分を知り」「社会を知り」「自立する」力を身につけていくプログラム「すきなものビンゴ&お仕事マップ」を実施。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<p>2020年度より新たな取り組みとして、育児サークル部門、ママのためのバランスボール始動(担当: 辻本)。コーラス COLORS も感染症対策を伴う新しいやり方で継続。幸せキッチン(顧問 辻由起子さん、九州大学 比良松先生とのご縁により新たに「KMP 自炊塾&お弁当の日」をスタートさせた。</p> <p>周年事業(2020年、2021年)「KMP サマースクール」(講師: 植松努さん、工藤勇一さん、朝山あつこさん、加藤智博さん)の開催により「子どもロケット体験教室」(with 株式会社植松電機)、「夢！自分！発見プログラム」(with 認定 NPO 法人キーパーソン 21)の2事業がさらに全国に広がった。</p> <p>2020年10月琵琶湖博物館リニューアルオープン記念式典でのロケット打ち上げ。11月チャリティブランド JAMMIN さんとのコラボでいただいた寄付でラチーノ学院中高生50名にロケット教室。大津中央ロータリークラブ様の事業として子どもロケット体験教室、2021年度はロケット教室の学校開催、わくわくナビゲーター養成講座、すきなものビンゴ&お仕事マップの学校開催等、年間活動日404回、延べ7,453名に参加していただき、活動の広がりを実感できた。</p>
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (寄付、会費、助成金、赤い羽根共同募金)</p>